

創造性を支えるために古いプロジェクトルームの再考

Steelcaseの設計者が、既存のプロジェクトスペースを創造性が繁栄できる場所に変えるため3つのステップにまとめました。

🕒 Read 4分



ロボットが私の仕事を奪いますか？新しい Pew研究センターの調査（2017年10月）によると、それは多く人の頭にある質問です。約4分の3（72%）の成人は、ロボットやコンピュータが多くの人間の仕事をできる未来について心配しています。しかし、Microsoftの Satya Nadella氏を含む多くの専門家は、AIは役に立つと見ています。AIが繰り返しの作業を引き継ぐ一方、それは同様に新しい仕事を増やすでしょう。更に、コンピュータが私たちが悩ます面倒で忙しい仕事の多くをすることによって、私たちは創造的に問題を解決し、ビジネスを革新し推進するための時間を費やすことができるでしょう。

Steelcase and Microsoft 社の調査によると、77%の人は創造性が将来的に重要な職業スキルになると信じています。しかし、69%の従業員は、自分たちの創造的な可能性に応えていないし、創造性を促進する文化や環境がないと答えています。

効率的なモデルによって推進される線形作業プロセスとは違い、創造的思考はまとまり、分解、繰り返しなどの様々な段階で人が加わる必要があります。空間、ツール、そしてテクノロジーの思慮深い統合により創造性に要求される会話、実験、集中のサイクルを可能にします。

創造性は支えられると、習慣になります。物理的環境は、より創造的な文化への移行を強化することができます。Steelcase and Microsoft 社は共同で Creative Spaces をデザインし、それは創造的プロセスを強化するための空間とテクノロジーが融合したエコシステムです。

クリエイティビティアイデアブック

クリエイティビティアイデアブックは、職場での創造性の計画に関する重要な洞察と情報を提供します。

プロジェクト空間の見直し

創造性のデザインは、小さく始めることができます、しかし、多くの組織は、十分に活用されていない不動産があります、古いプロジェクトルームのように、新しい命を与えられるのを待っているのです。創造性を高めるため、既存のスペースを再考ができるいくつかの簡単な方法があります。

専用のプロジェクトチームスペースは、チームがグループセッションや個人の黙々とした作業をする時などの、集中、コラボレーション、そして休息の間をスムーズな変化を提供できます（下の写真を参照）。組織が始めるのを手伝うため、Steelcase社のデザイナーは、創造力アイデアブックでいくつかのエコシステム計画のアイデアを作成しました。クリエイティブスペースのデザイン原則の1つである「創造力の自信を育む」ための3つの方法が含まれています。こうして、古いプロジェクトスペースを クリエイティブな作業場 に変えていきます。



創造的自信を養うための3つの方法

創造的な自信を育むためには、すべての従業員は、階層や地理に関係なく、複雑な問題に取り組む権限を与えられるべきです。

1. 平等な貢献を奨励する

アクセスできるテクノロジーは、人が参加し共創することを奨励します。

大規模なMicrosoft Surfaceハブを追加することで、コンテンツを共有したり、同じ職場や、分散したチームメンバーとの作業が簡単になります。

2. クリエイティブプロセスを導く

アイデアが見えるようにし、テクノロジーに隣接して書き込み可能な面を提供して創造的なプロセスを導きます。垂直的な書く、描く、投稿する面はクリエイティブな思考や表現をサポートします。

3. リーダー、ゲストと交流してつながる

追加のチームメンバーまたは外部の専門家のためにスペースを別けることによって、プロジェクト作業へのリーダーとゲストの参加が促進されます。プロジェクト空間に埋め込まれた、ディレクターのスタジオ（写真の右上）は、リーダーシップとチームの作業を繋げます。

クリエイティブ空間の背後にある設計原則の詳細、および職場での創造性の条件を作成するための追加アイデアをもっと見るには、クリエイティビティアイディアブック/[Creativity Ideabook](#)をダウンロードしてください。